

アジア/世界エネルギーアウトルック 2015

原油シナリオへのコメント

2015年10月21日

日本経済新聞

後藤康浩

中国経済の現状とエネルギーへの影響

- 中国経済の減速は景気循環ではなく、構造変化
――高度成長期の終焉・・・日韓のたどった道
- エネルギー消費への影響
 - ①エネルギー多消費産業の生産減退
ex.2015年3Q 鉄鋼2.1%減、セメント4.7%減
1～6月の電力消費1.3%増・・・5年ぶりの低水準
 - ②産業のエネルギー効率改善＝省エネ促進
「中国製造2025」など産業構造の転換
非効率プラントの廃棄・・・地方政府と企業の転換
 - ③個人消費は底堅く、家庭向けエネルギー需要も増加
自動車は新車販売は伸び低下だが、石油消費は堅調

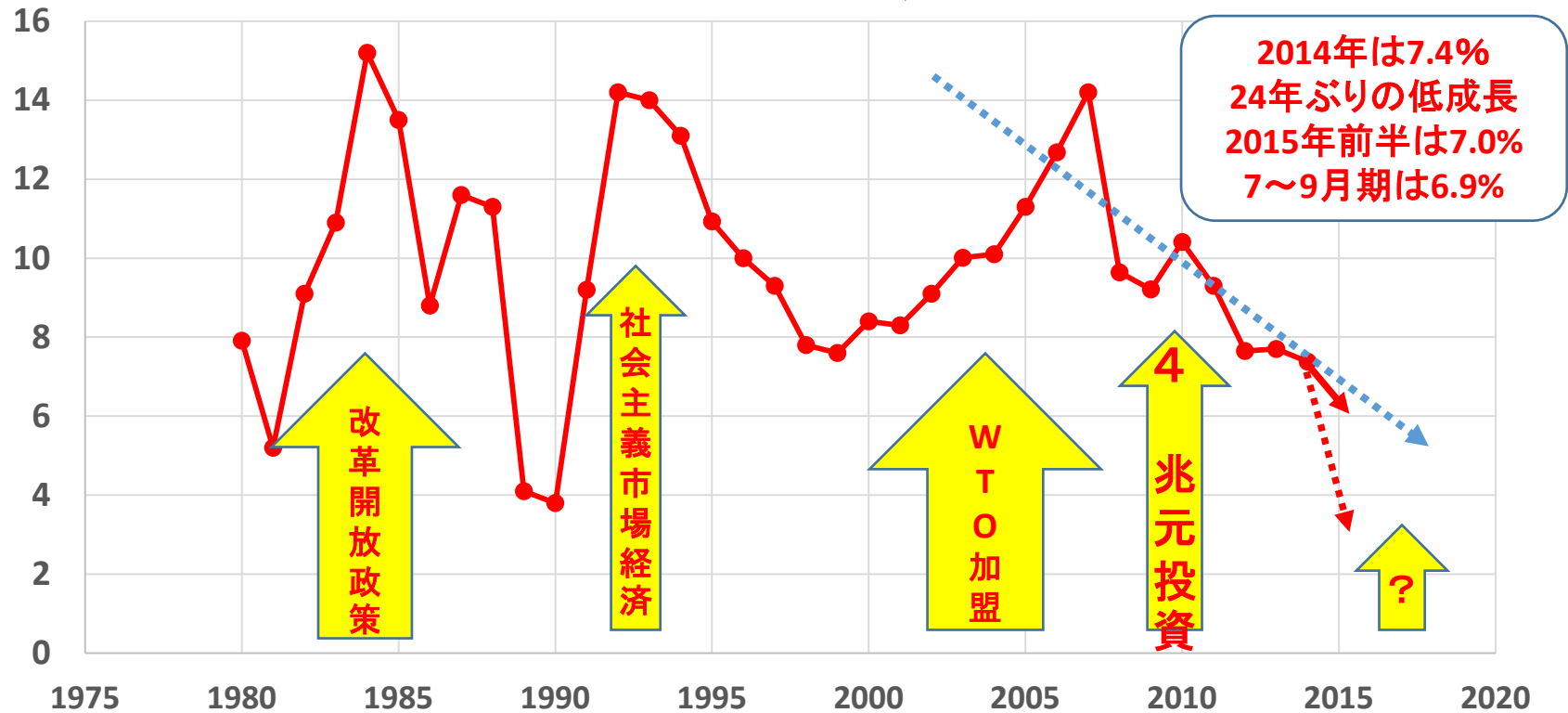
内需の実態→ゴーストタウン工業団地 太陽光＋小風力発電パネル街路灯



河北省曹妃甸プロジェクト
総工費9兆円

高度成長期が終わった中国

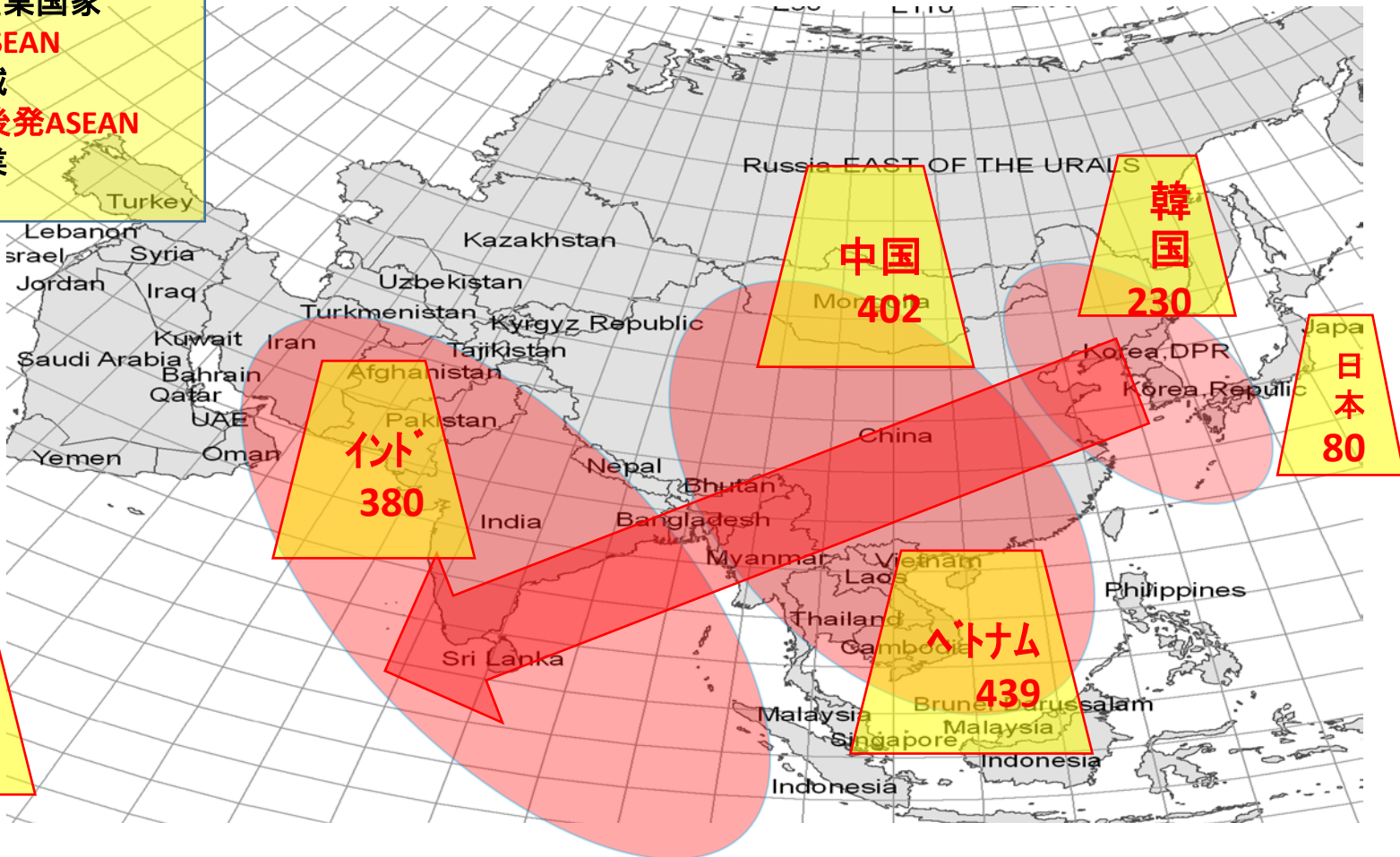
中国の経済成長率



アジア域内では産業が西から東に移転 ＝エネルギー需要も移転

人件費の上昇、技術の陳腐化とともに
生産拠点は東から西へ移転

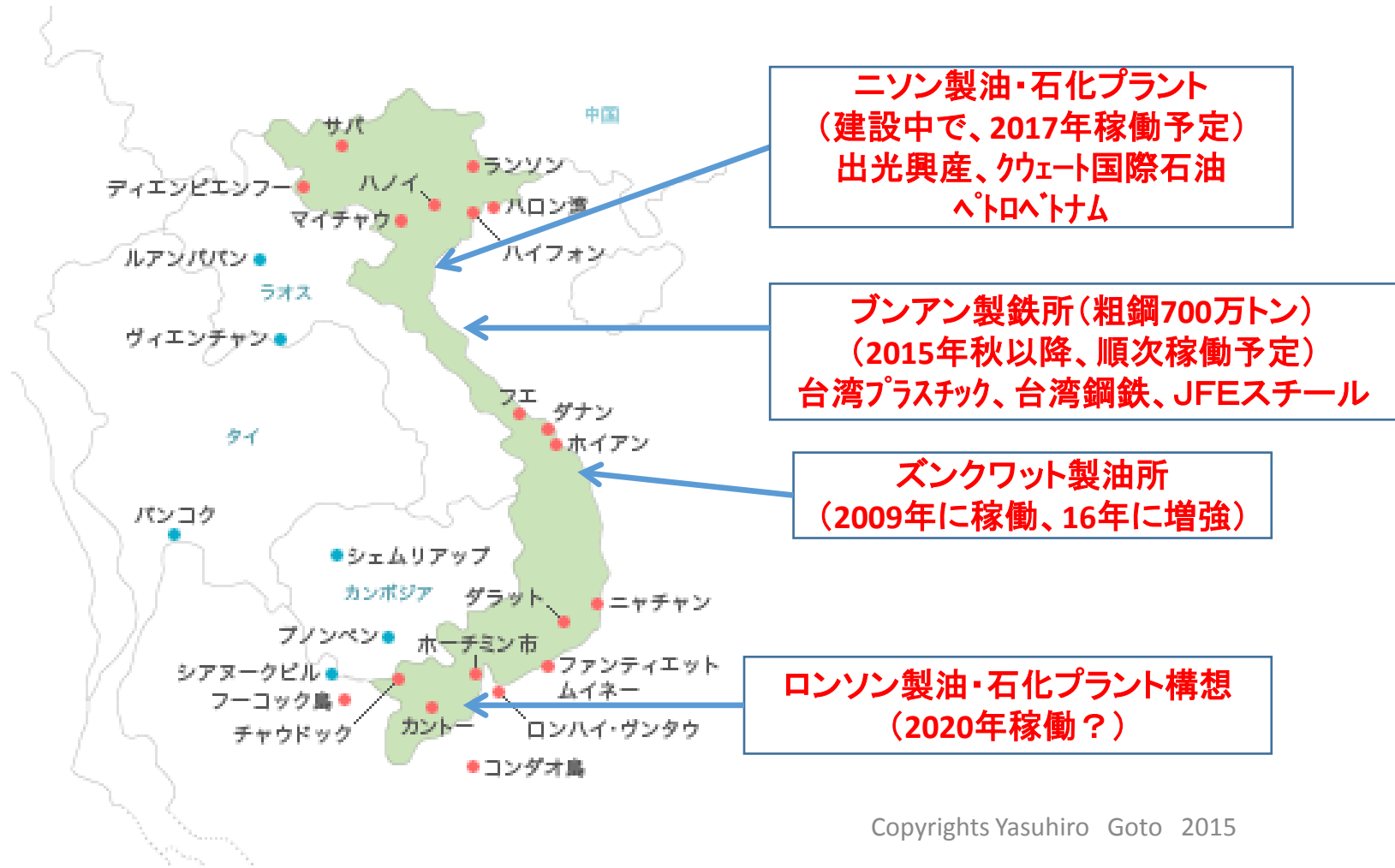
- ①日本、韓国＝高度産業国家
- ②中国、台湾、先行ASEAN
＝量産型産業地域
- ③インド、バングラデシュ、後発ASEAN
＝労働集約型産業



GDPあたり
エネルギー消費
toe/百万\$

ベトナム・ニソン製油・石化プラント 総工費90億ドル





Copyrights Yasuhiro Goto 2015

アジア、中東からの視点

- ①中国のエネルギー消費が鈍化しても、次の多消費国が！
→アジア全体ではエネルギー消費の高い伸び続く
- ②アジアは原油、天然ガスを中東、東アフリカに依存
→エネルギー調達ルートめぐる争いも
＝「21世紀のシーレーン・グレート・ゲーム」
- ③アジアの多くの国は供給途絶への対応力(備蓄)が低い
→中東情勢によってはパニックに＝油価急騰も